

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和2年1月発行 119-4

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

福岡お手玉の会が山口市へ

招かれて新しい遊びなどで交流

福岡お手玉の会(原妙子会長)の8人が、令和元年12月21日(土)、山口市で行われたお手玉遊びを兼ねた講習会に参加しました。これは同市のお手玉グループ・むかしまつかしょお手玉会(中村信子会長)のお招きに応えたもので、『子どもの遊び・文化活動実施事』として開催され、約100人が参加しました。

まず、地元の若いスタッフによる「手のひらを太陽に」のお手玉演舞で始まりました。福岡のメンバーは、「サザエさん」の演舞を行い、続いて、松本弘子師範代が、お手玉の名人芸を披露しました。



参加者全員で、ウォーミングアップの後、①『両手2

個ゆり』の基本、②『ヨーヨーお手玉』を両手でつかむ、たたくなどのタイミングの体験、③『お隣りへ

ポイッ』で、ペアで輪になり、手ぬぐいに4個のお手玉を乗せて、ポンポンと弾ませて隣に送る遊びを体験してもらいました。



いずれのコーナーも、真剣に取り組みながらも、失敗しては笑があり、楽しい雰囲気で行っていました。

つづいては、全員で輪になってのお手玉回し『ハイ!どうぞ!』をして、会場全体がなごやかな雰囲気になりま

した。(写真右上：みんなでお手玉回し「ハイ!どうぞ!」)

つづいては、3つのグループに分かれて、大きな布にたくさんのお手玉を乗せ、全員で布を持って弾ませてお手玉を高く上げる『お手玉の花を咲かせましょう』の遊びを楽しみました。(写真左上)：

エンディングにはピエロが登場し、『きよしのズンドコ節』の演舞、そして『まるいいのち』を合唱してさよならしました。(この記事は、平山圓、森山桂子、明神倫子の3人の方にご提供いただきました)

記事をご提供いただいた3人は、今回の感想を次のように述べています。

「楽しい時間は、あっというまに過ぎました。山口のみなさんのおもてなしに感謝しています」(平山)

「お手玉を手にするだけで認知症が予防でき、笑顔が生まれるということを再認識しました」(森山)

「今回の訪問で、伝統のお手玉を次世代に残さなければという気持ちがさらに強まりました」(明神)